

水辺空間活用（舟運）ワーキンググループ（第7回）
「平成30年度の取組内容（案）」

平成30年3月19日

7-1 舟運活性化に向けた取組のスケジュール(案)

- ◇平成28年度から2か年実施した社会実験の結果を踏まえ、平成30年度以降は民間事業者による定期的な運航を拡充
- ◇平成30年度以降も民間事業者の運航を促進するための環境整備を実施



7-2 平成30年度の主な取組内容(案)

舟運や水辺の魅力の周知による認知度の向上

【舟運活性化に向けたPR】

- 運航に関する社会実験の周知から、水辺の魅力をはじめとした舟運全体にPRを拡充
- 舟運や水辺の魅力を伝える動画の作成
- 舟運全体の航路図、時刻表をはじめ船着場周辺の観光案内等の情報を一元化して発信



航路図の統一掲示例



動画（イメージ）



ポスター

船着場周辺のにぎわい創出による魅力の向上

【船着場周辺のにぎわいとの連携】

- 水辺のイベントに合わせた企画便等の企画
- 舟運を取り込んだツアーなど、観光客にも楽しめる舟旅を企画
- 舟運とまちとの連携強化
 - ・ 船着場周辺の商業施設や観光案内所との連携
 - ・ 各区等の社会実験との連携

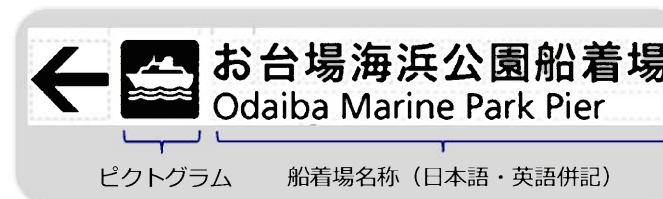


水辺のイベント

利用しやすい船着場づくり等による利便性の向上

【分かりやすい案内サインの整備】

- 船着場の統一した案内サインの整備計画を策定
- 平成29年度に実施した2地区（お台場、天王洲）での試行設置を6地区へ拡大
- 地図情報へ船着場名称、位置等を反映



案内サイン表記の統一化



案内サインの試行設置